

キッチン白書2018公開

「理想の食の場は？癒しか、家族のコミュニケーションか？」

～男女の不満と理想の違いが明らかになった、食の場事情～

クリナップ(本社:東京都荒川区 代表取締役 社長執行役員:竹内 宏)は、昨年につづき、生活者の変化の兆しを求め、キッチン周辺環境の生活者実態調査を『キッチン白書 2018』としてまとめ、公開します。

今年度は「食の場(食事をする部屋、食事をする場所、食卓を囲む状況)」について調査を実施し、性別、年代別に「現状への不満」そして「理想」について分析を行いました。

これにより、不満を感じている人が多いピークは、男性では50代、女性では30代であることが明らかに。それぞれの「理想とする食の場」については、男性50代が「テレビが見られる部屋」に続き「ゆったり・のんびりできる空間」「落ち着いてリラックスできる空間」と、癒しを求めるのに対し、女性30代は「家族の集まる空間」に続き「会話やコミュニケーションを楽しむ空間」「ゆったり・のんびりできる空間」と、家族のコミュニケーションを重要視しています。全体では、男性が全世代で「ゆったり・のんびりできる空間」を支持したのに対し、女性は60代を除く全世代で「家族が集まる空間」を支持しており、男女の「食の場」に求める理想の違いが浮彫りとなりました。

また男性で「家族の集まる場」がトップ3に入ったのは、20～30代のみで、自身の婚姻により「家族」を意識し始めることもうかがえます。

そのほか、主にキッチンで食事をする人の動向についても、分析結果を掲載しています。

詳細は添付の『キッチン白書 2018』をご覧ください。

4月19日からウェブサイトでも公開予定です。 <http://cleanup.jp/oikura/>

【アンケート調査概要】

実施期間: 2017年8月1日～9月8日
調査地域: 全国
調査対象: 月1回以上調理をする男女20～60代
回答数: 1000名(性年代均等割付)
調査方法: インターネットによるアンケート調査



女性30代の理想の食の場イメージ



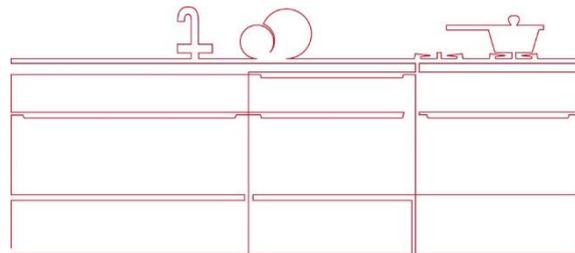
男性50代の理想の食の場イメージ

「おいしい暮らし研究所」とは・・・

キッチンを通じた、楽しいふれあいの場作りに貢献するために、生活者の食や暮らしに関する情報の収集、調査・分析を行っているクリナップ(株)の研究部門です。

Kitchen Annual Report
キッチン白書 2018

<食の場調査編>



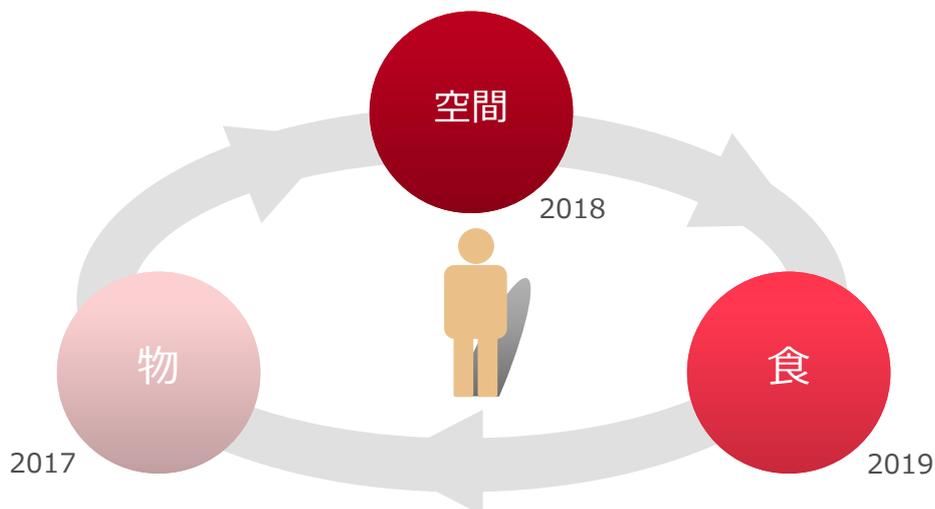
クリナップ株式会社
おいしい暮らし研究所®

目次

1. はじめに
 - 2-1. 「食事をする部屋（空間）」に対する不満
 - 2-2. 「食事をする場所（テーブル等）」に対する不満
 - 3-1. 「食卓を囲む状況（ひとりか誰と食事しているか）」に対する不満
 - 3-2. 前述2～3-1より食の場に不満を抱える
男性50代、女性30代に着目＜食への意識＞
 4. 前述2～3-1より食の場に不満を抱える
男性50代女性30代に着目＜理想とする食事の場＞
 5. まとめ
- 番外編1. 平日朝食はキッチンで手早く済ませたい
- 番外編2. 主にキッチンで食事をする理由は
手軽さや導線の良さ
- 番外編3. キッチンでの食事は手軽さ、居心地の
良さが満足の鍵？

付表

キッチン白書とは、クリナップが「家族の笑顔を創ります」という企業理念の下で、もっと食を、家族を、暮らしを、深く知り、考えていくために「食、物、空間」それぞれを3年おきに調査しまとめたものです。



1. はじめに



クリナップは日本で初めてシステムキッチンを製造、販売したキッチンメーカーとして、キッチンにまつわる生活者の実態調査を継続的に実施しています。

今年度は、キッチンだけではなくその周辺も含めて「食の場（食事をする部屋/食事をする場所/食卓を囲む状況）」に関する調査を行いました。調査より、性年代別に「食の場」に対して何らかの不満を抱えている層について分析した結果を“キッチン白書”として公開します。



調査概要

実施期間：2017年8月1日～9月8日

調査地域：全国

調査対象：月1回以上調理をする男女20～60代

回答者数：1000名（性年代均等割付）

調査方法：Webアンケート調査

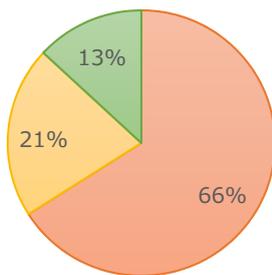
2-1. 「食事する部屋（空間）」に対する不満

◆男性50代は空間の狭さに対する不満、女性30代は「家族」を気にかける不満が目立つ

自宅でもちよく食事をする部屋（キッチン/ダイニング/リビング/その他）に対して不満、やや不満と感じている人の割合は男性50代、女性30代で最も高い。不満足の原因としては男性50代、女性30代ともに空間の「狭さ」に関する不満が多く挙げられている。また、女性30代では子どもや配偶者など「家族」を気にかけているコメントも目立つ。

Q.あなたがご自宅で最もよく食事をする部屋について、どのように感じていますか？（一つだけ）

【全体】
最もよく食事をする部屋
（空間）に対する満足度



■ 満足（満足、やや満足）
■ どちらでもない
■ 不満（不満、やや不満）

【性年代別】
最もよく食事をする部屋（空間）に対して
不満を感じている人の割合



最もよく食事をする部屋に対する不満足の原因【自由回答】

男性
50代

「狭い。食事と関係ないものがたくさん置いてあり、食事に専念できない。」
「取りあえずいろいろ間に合わせているが、スペースが狭い。」
「狭いので、もう少し広ければいいと思います」
「狭く機能的ではない」
「ダイニングテーブルがゴチャゴチャしていて食卓が雑な感じになってしまうので。」
「暗い、狭い、最近ゴキブリが出没し、汚い」
「食事時にかちゃついて嫌」

女性
30代

「ダイニングテーブルを置いているが、狭くて人が座っている後ろを通り抜けるのが難しい」
「とても狭いから。食卓テーブルと椅子で通路が狭くて、一度家族全員が座ったら席をたてなくなるから。」
「家族が多いので、せまい。」
「キッチンとの仕切りがないので、子供が包丁の入っているところをあけたりして危ない。」
「旦那と子供がテーブルの上を直ぐに散らかすので直ぐに食事ができないことが多い。」
「狭いし、子供のオモチャなどが乱雑に置いてあって食事との区別がつかない」

2-2. 「食事する場所（テーブル等）」に対する不満

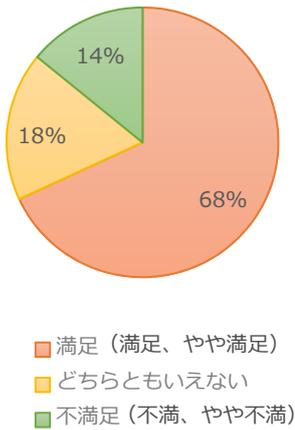


◆女性30代では「テーブルの高さと子どもの関係」に不満を抱く人が目立つ

自宅でもっとよく食事をする場所（テーブル等）に対して不満、やや不満と感じている人の割合は女性30代で最も高い。不満の理由としては「部屋に合わせたので小さい」「小さいので品数が多い時に並べるのが大変」などが多く挙げられており、女性30代では「テーブルの高さと子どもの関係」に関する不満を抱えている人も目立つ。

Q.あなたがご自宅で主に食事をする場所（テーブル等）についてどのように感じていますか？（一つだけ）

【全体】
最もよく食事をする場所（テーブル等）



【性年代別】
最もよく食事をする場所（テーブル等）に対して不満を感じている人の割合



最もよく食事をする場所（テーブル等）に対する不満の理由【自由回答】

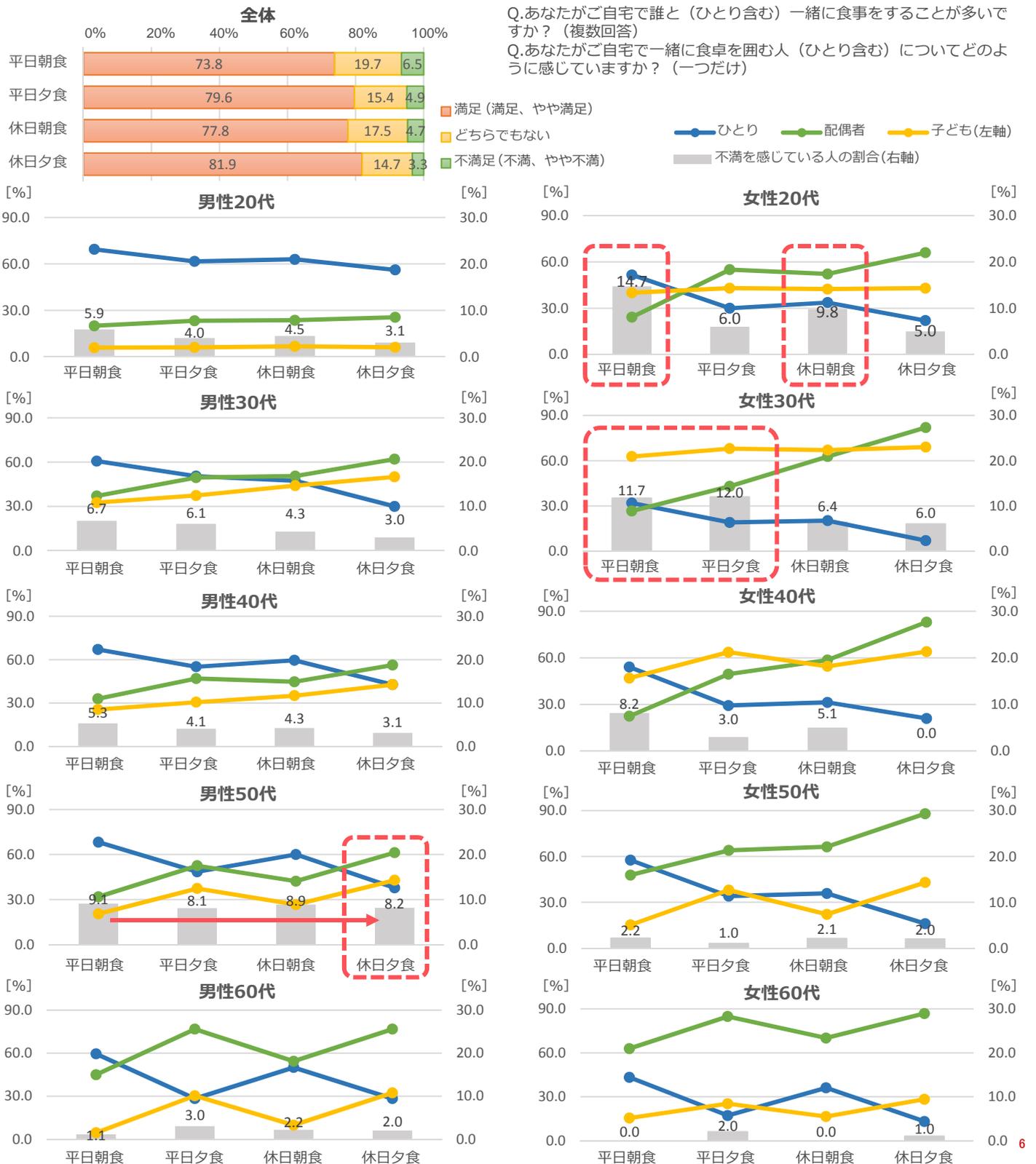
全体	「机が 小さくて おかずなどをうまく並べられない」（男性30代）
	「ダイニングが狭くテーブルも 小さい ので」（男性40代）
	「お客様などが増えると 狭い ので、大きいものにしたい。円卓は使いにくいので四角いテーブルのほうが良い。」（男性50代）
	「サイズが 小さく 食材の置き場所に工夫が必要だから」（男性60代）
	「もう少し 大きければいいなあ と思います。」（女性20代）
	「品数が多い日はテーブルが狭いのでもう少し 広いほうがいい 。」（女性30代）
	「家族4人だとテーブルが 狭い 、各々のお皿を並べると隙間がない」（女性40代）
女性30代	「小さいので、家族全員が一度に食事をするには少し 手狭 。」（女性50代）
	「子どもが大きくなり家族全員で囲むと 手狭 になった。」（女性60代）
	「テーブルが少し 高め だからなんとか 子供 が椅子から落ちた」
	「 狭い 、 高さ が中途半端」
	「 低い と腰がいたくなる」
	「できれば 高さ のあるテーブルと椅子で食事をしたいが、現在は床に座りテーブルで食事をしているから。」
「 子供 たちが 高さ が合わなくて食べづらそう」	
「 子ども が座ってられないから 低い テーブルを使用しているが、将来的にはダイニングテーブルで食べたい」	
「 子供 が小さいので、 高い テーブルだと危ないから。」	

3-1. 「食卓を囲む状況（ひとりか誰と食事しているか）」に対する不満



◆女性20、30代は配偶者との食事で満足度アップ、男性50代は変わらない

食卓を囲む状況に対し不満、やや不満と感じている人の割合は、男性より女性で高く、女性20代の平日朝食、女性30代の平日で1割を超える。女性20代は夕食より朝食で不満を感じている人の割合が高く、朝食は配偶者と食事をする人の割合が低い。女性30代は休日より平日で不満を感じている人の割合が高く、平日は配偶者と食事をする人の割合が低い。一方、男性は50代で不満を感じている人の割合が最も高く、誰と食事しているのかでは不満を感じている人の割合はほとんど変わらない。





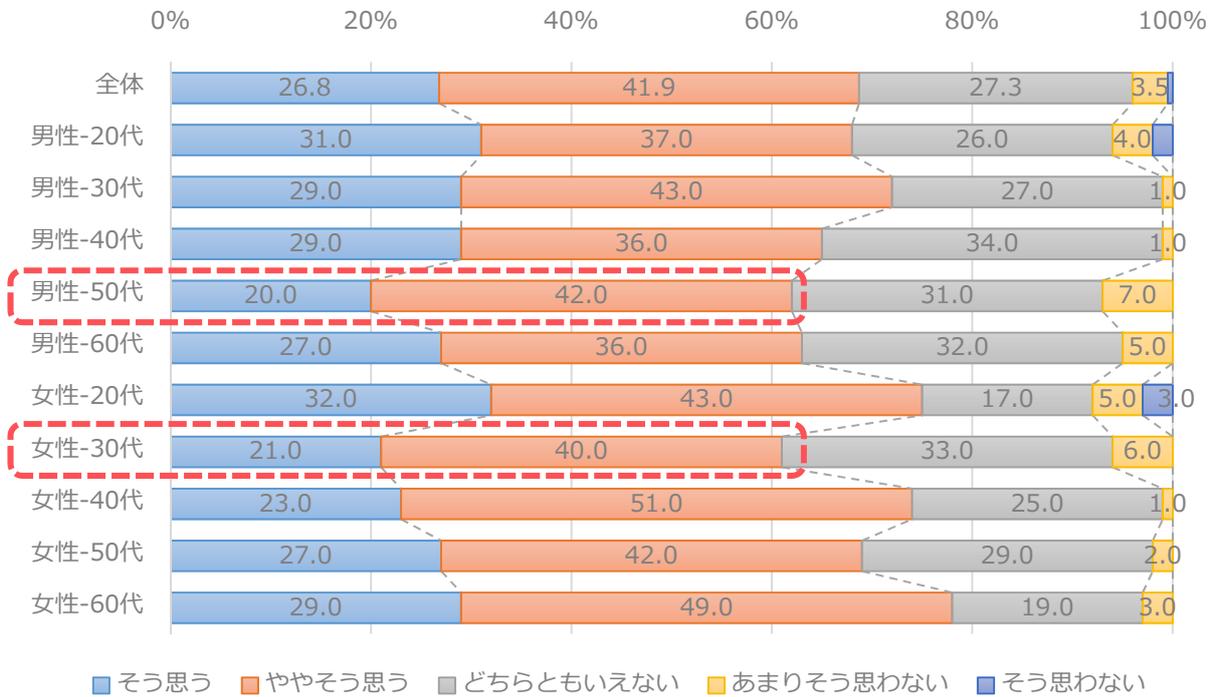
3-2. 前述2~3-1より食の場に不満を抱える男性50代、女性30代に着目<食への意識>

◆女性30代は「家で食事するのが好き」が最少だが「家族と一緒に食事をとるようにしたい」は最多

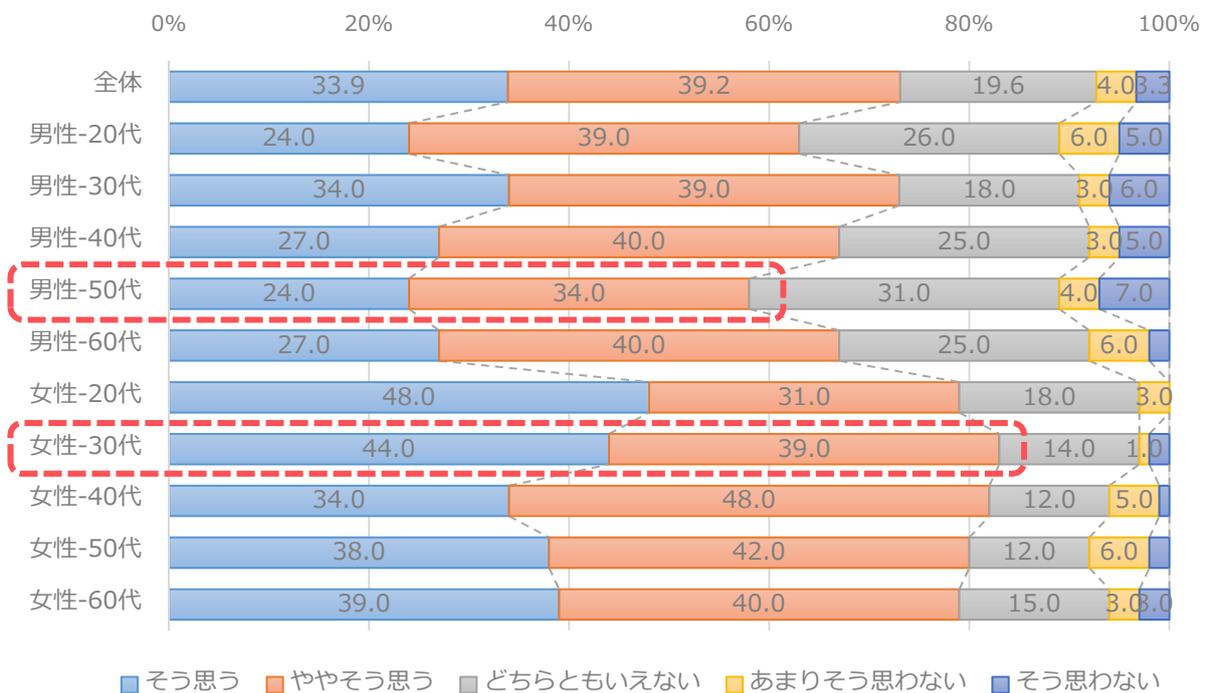
食事に対する行動や考え方として「家で食事するのが好きだ」に対し、そう思う、ややそう思うと回答した人の割合は男性は50代、女性は30代で最も低い。一方、「できるだけ家族と一緒に食事をとるようにしたい」に対し、そう思う、ややそう思うと回答した人の割合は、男性は50代で最も低く、女性は30代で最も高い。

Q. 食事に対する行動や考え方として、それぞれあなたのお気持ちに近いものをお知らせください。(それぞれ1つずつ選択)

家で食事するのが好きだ



出来るだけ家族と一緒に食事をとるようにしたい





4. 前述2～3-1より食の場に不満を抱える 男性50代、女性30代に着目<理想とする食の場>

◆男性50代「TV見ながらのんびり落ち着く」、女性30代「家族集まりコミュニケーション楽しむ」食の場が理想

男性50代は、理想とする食の場として「テレビが見られる部屋」「ゆったり・のんびりできる空間」が最も高く、次いで「落ち着いてリラックスできる空間」と続く。一方、女性30代は「家族が集まる空間」が最も高く、次いで「会話やコミュニケーションを楽しむ空間」と続く。

Q.あなたにとって、自宅での理想の食事の場とはどういうものですか。理想的な食事の場所の条件としてあてはまるものを、理想的だと思う順に最大5つまでお知らせください。(5つまで選択可)

理想とする食の場TOP 3							
男性 20代	1位	落ち着いてリラックスできる空間	27.0%	女性 20代	1位	家族が集まる空間	39.0%
	2位	テレビが見られる部屋	24.0%		2位	会話やコミュニケーションを楽しむ空間	38.0%
	3位	ゆったり・のんびりできる空間	20.0%		3位	落ち着いてリラックスできる空間	30.0%
男性 30代	1位	ゆったり・のんびりできる空間	26.0%	女性 30代	1位	家族が集まる空間	43.0%
	1位	家族が集まる空間	26.0%		2位	会話やコミュニケーションを楽しむ空間	40.0%
	3位	会話やコミュニケーションを楽しむ空間	25.0%		3位	ゆったり・のんびりできる空間	37.0%
男性 40代	1位	家族が集まる空間	31.0%	女性 40代	1位	家族が集まる空間	38.0%
	2位	落ち着いてリラックスできる空間	30.0%		2位	落ち着いてリラックスできる空間	27.0%
	3位	ゆったり・のんびりできる空間	27.0%		3位	大きな窓があり日当たりのよい部屋	26.0%
男性 50代	1位	テレビが見られる部屋	35.0%	女性 50代	1位	ゆったり・のんびりできる空間	42.0%
	1位	ゆったり・のんびりできる空間	35.0%		2位	家族が集まる空間	37.0%
	3位	落ち着いてリラックスできる空間	33.0%		2位	落ち着いてリラックスできる空間	37.0%
男性 60代	1位	テレビが見られる部屋	34.0%	女性 60代	1位	テレビが見られる部屋	47.0%
	2位	ゆったり・のんびりできる空間	31.0%		2位	ゆったり・のんびりできる空間	31.0%
	3位	家族が集まる空間	29.0%		2位	落ち着いてリラックスできる空間	31.0%

5. まとめ



今回の調査から、食の場（食事をする部屋/食事をする場所/食卓を囲む状況）に対して不満を感じている人の割合が高いのは男性は50代、女性は30代であることがわかった。また、以下のように食の場に抱く意識が異なることもわかってきた。

女性30代

- ◆ 食事をする部屋や場所に対する不満の理由として、家族を気にかけるコメントが目立つ。
- ◆ 食卓を囲む状況として、配偶者との食事が増える休日で不満を感じている人の割合が低くなる。
- ◆ 「家族が集まる空間」「会話やコミュニケーションを楽しむ空間」「家族とのコミュニケーションが楽しめる空間を理想としている。
- ◆ 「出来るだけ家族と一緒に食事をするようにしたい」といった家族との食事に対する意識が他の性年代よりも高い。

このことから、他の性年代と比較すると女性30代は夫婦が揃い「家族と楽しく食事ができる空間」であることが訴求ポイントとなり得るかもしれない。



男性50代

- ◆ 食事をする部屋の広さに不満を抱いている。
- ◆ 「TVが見られる部屋」「ゆったり・のんびりできる空間」「落ち着いてリラックスできる空間」など、のんびりリラックスできる空間を理想としている。
- ◆ 食卓を囲む状況が、ひとりか誰かと食事をしているかでは不満を感じている人の割合は、ほとんど変わらない。
- ◆ 「出来るだけ家族と一緒に食事をするようにしたい」といった家族との食事に対する意識が他の性年代よりも低い。
- ◆ 「家での食事が好きだ」に対し、そう思う、ややそう思うと回答した人の割合が男性の中で最も低い。

このことから、他の性年代と比較すると男性50代は、誰かとの食事を楽しむことよりも「TVを見ながらゆったりくつろげる空間」であることが訴求ポイントとなり得るかもしれない。

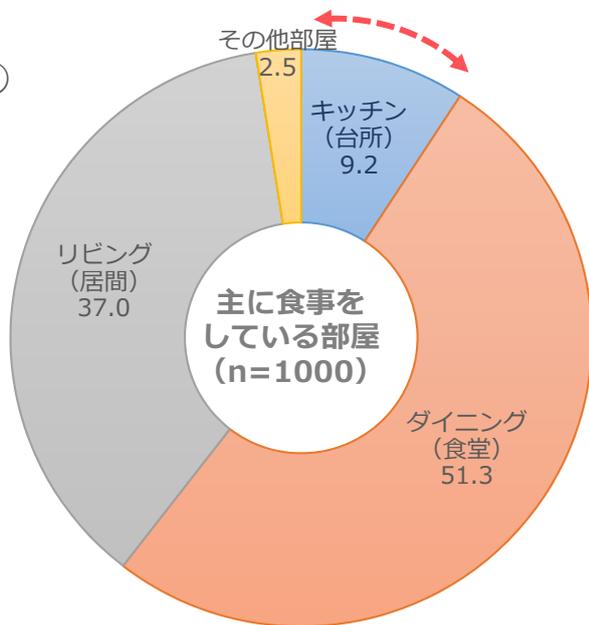


番外編 1. 平日朝食はキッチンで手早く済ませたい



主にキッチンで食事をしている人の割合は1割弱おり※①、特に平日の朝食で最も高い※②。性年代別では男性20代の割合が最も高く、男性20代は「食事は早くすませたい」に対してそう思う、ややそう思うと回答している人の割合が最も高い※④といった特徴もある。

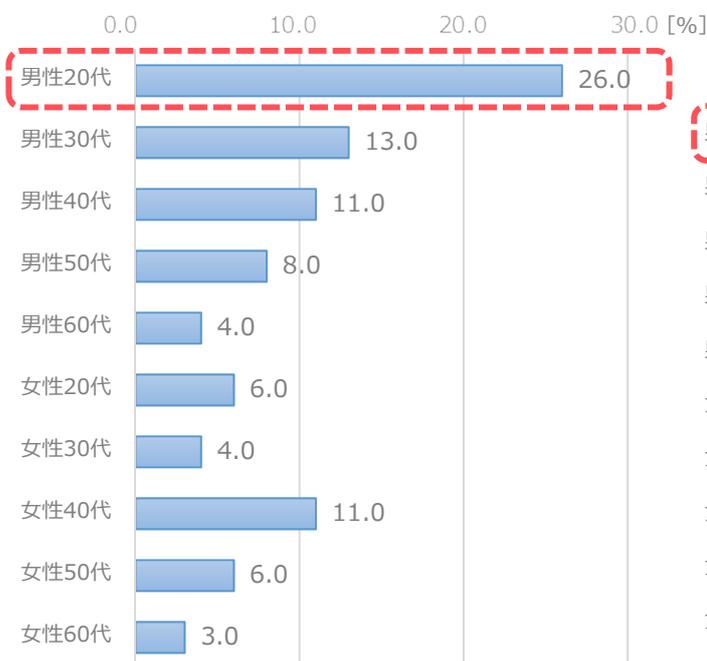
※①



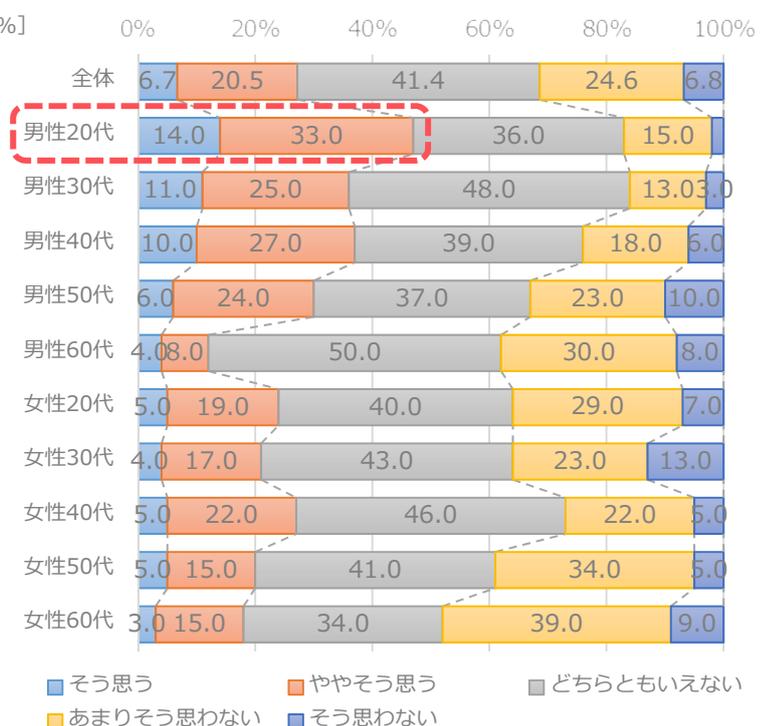
※② キッチン (台所) で食事をする人の割合



※③ 性年代別 主にキッチンで食事をしている人の割合



※④ 食事は早くすませたい



番外編 2. 主にキッチンで食事をする理由は動線の良さや手軽さ



また、キッチンで食事をすることに満足だと感じている人の理由を確認したところ「出来たものをすぐに持って行って食べることが出来るから」「程よい距離感で、使いやすいです。」「運ばなくてもいいし、片付けが楽」など、食事をするうえでの動線の良さが挙げられている。

さらに、ダイニングがあるのにキッチンで食事をする理由を確認したところ「部屋を汚したくないから」「移動しなくても良いから」「忙しいのですぐに食べたいから」などが挙げられている。

主にキッチンで食事をする人が満足している理由【自由回答】

- 「動線が良い、使いやすい（男性30代）」
- 「安心感がある（男性30代）」
- 「広すぎず、移動が少ないから（男性40代）」
- 「出来たものをすぐに持って行って食べることが出来るから（女性20代）」
- 「作ってすぐ食べれる（女性30代）」
- 「調理してすぐに運べて便利だから（女性30代）」
- 「運ばなくてもいいし、片付けが楽（女性40代）」
- 「移動しやすく、作業しやすい（女性50代）」
- 「程よい距離感で、使いやすいです。（女性60代）」

ダイニングがあるのにキッチンで食事をする理由【自由回答】

- 「部屋を汚したくないから（男性20代）」
- 「移動する必要があるから（男性30代）」
- 「忙しいのでゆっくり食べていないから（男性40代）」
- 「すぐに食べたいから 運ぶのが面倒（男性40代）」
- 「キッチンの横が便利だから。（女性20代）」
- 「ダイニングが整理されていないから（女性30代）」
- 「キッチンでも十分広いし、運んだり、拭いたり面倒だから。（女性40代）」
- 「作りながら食べてもらうことが多いから（女性40代）」
- 「面倒なので。（女性40代）」

番外編 3. キッチンでの食事は手軽さ、居心地の良さが満足の鍵？



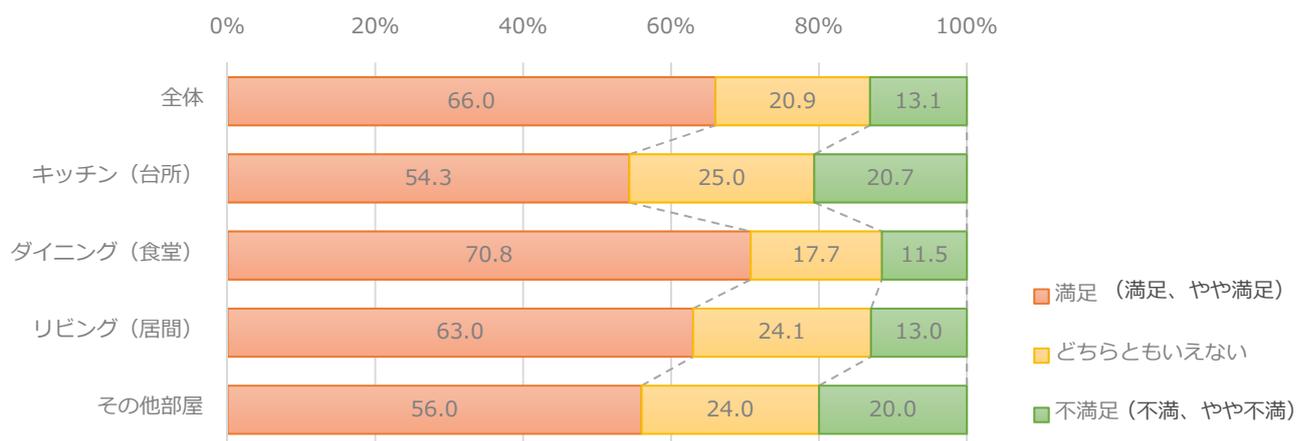
キッチンでの食事はダイニングやリビングに比べ、不満、やや不満と感じている人の割合が高い。理由としては「狭いから」「暗いから」などが挙げられている。

一方、満足、やや満足と感じている人の割合が高いダイニングやリビングでは「落ち着く・くつろぐ」「家族みんなで食事ができる」などが満足点として挙げられている。

このことから、動線が良く手軽に食事ができるキッチンでの食事はゆっくり落ち着ける「居心地の良さ」が満足度に影響するかもしれない。

Q.あなたがご自宅で最もよく食事をする部屋について、どのように感じていますか？（一つだけ）

最もよく食事をする部屋×満足度



キッチンで食事をする人が不満を感じている理由【自由回答】

- 「料理をする際に狭く感じる（女性20代）」
- 「狭く老朽化している（男性60代）」
- 「せまいから広くしたい（男性20代）」
- 「狭くて換気が悪い（女性40代）」
- 「もっと快適な場所が欲しいから。（女性20代）」
- 「中途半端な広さの為使い勝手がよくないです。（女性50代）」

ダイニング、リビングで食事をする人が満足している理由【自由回答】

- 「テレビを見ながらくつろいで食事ができるので（男性20代）」
- 「家族団欒ができホッとする場所なので。（男性30代）」
- 「ゆっくりと過ごすことができるから（男性40代）」
- 「明るくゆったりしているから（女性50代）」
- 「落ち着き、集える空間なので。（女性50代）」
- 「程よい広さがあり落ち着くから。（女性40代）」



【基本属性】

- (1) 自身と同居家族の業種
- (2) 性別
- (3) 年齢
- (4) 居住地域
- (5) 住居形態
- (6) 婚姻状況
- (7) 同居家族
- (8) 子ども人数
- (9) 同居家族人数
- (10) 子供の学齢状況
- (11) 近居家族について
- (12) 自身の職業
- (13) 配偶者の職業
- (14) 自身の勤務時間
- (15) 配偶者の勤務時間
- (16) 世帯年収
- (17) 自宅の間取り

【調理について】

- (1) 食品（食事や食材）を購入する場所
- (2) 自宅での調理頻度
- (3) 調理の程度
- (4) 主に食事を用意している人
- (5) 調理に対する意欲・考え

【食事について】

- (1) 自宅での食事頻度
- (2) 自宅での主な食事内容
- (3) 自宅で一緒に食事をしている人
- (4) 自宅で誰かと食事をする事への満足度
- (5) 自宅での食事にかかる時間
- (6) 自宅で食事をしながら行うこと
- (7) 食事に対する意識・行動
- (8) 自宅でもちよく食事する部屋（空間）
- (9) 自宅でもちよく食事する部屋（空間）に対する満足度
- (10) 自宅でもちよく食事をする場所（テーブル等）
- (11) 自宅でもちよく食事をする場所（テーブル等）に対する満足度
- (12) 理想としている食事の場について

おいしい暮らし研究所®は、生活者の食や暮らしに関する情報の収集、調査・分析を行っているクリナップの研究部門です。料理を作るキッチンだけではなく、作った料理を“おいしく楽しく食べられるような空間”作りも意識しながら調査を実施し、継続的にキッチン白書の充実を図ってまいります。

本書の無断転載を禁じます。本書の転載・引用をご希望やご質問は
広報・ブランド推進課inq@cleanup.co.jpまでお問い合わせください。